

闘い続けるアスリートを応援する
《水溶性マグネシウム》

Mag-on

 (マグ・オン)

不足しがちなマグネシウムを素早くチャージ

毎日のトレーニングやレースでの発汗、ストレスなどにより失われる必須ミネラル「マグネシウム」を効果的に吸収。Mag-onは、高純度な国産のマグネシウムを、素早く溶けて、吸収率の高い水溶性に加工した、アスリートのためのサプリメントです。

エネルギーと一緒にMgチャージ！ おいしさも好評のエナジージェル

エナジージェルに水溶性マグネシウムをプラスしたMag-onジェルタイプがついに登場。エネルギー切れやマグネシウム不足による急激なパフォーマンス低下が気になる人に。

NEW
新発売



両フレーバーとも甘過ぎずさっぱり爽やかな味で、飲みやすさも追求

エネルギー120kcal
マグネシウム50mg
1個41g フレーバー/ウメ、グレープフルーツ

上質なコンディショニングや ガッツとMgチャージしたいときに

30包入り ¥6,900 (税別) 8包入り ¥2,000 (税別)

マグネシウム200mg
1包3.7g
レモンフレーバー/顆粒タイプ カルシウム、各種ビタミン類も配合



現在は、2016年世界選手権での国別順位10位以内を目標に掲げているJSA (ジャパン・スカイランニング・アソシエーション) の一員として活動している。写真中央はJSA代表の松本大さん

プロセスを磨けば トラブルはもう怖くない。

Mag-on Your Challenge
#006



アスリートの挑戦に、マグネシウムを

星野和昭さん
スカイランニング
アジア選手権28km 3位



Kazuaki Hoshino (写真・左)

中学生時代からロードの長距離をはじめ、国学院大学時代は箱根を目指し下りのスペシャリストとして活躍。その後、上武大駅伝部のコーチとして、後進の指導にあたるが、山を走ることに対する憧れから、トレイルの世界に足を踏み入れる。2014年シーズンは西丹沢アドベンチャーラン総合優勝、北丹沢12時間耐久レース 4位など、名だたるレースで入賞を果たしたトレイル界の注目株。1981年、群馬生まれ。

(写真左) 今年2月7日に香港で初開催されたスカイランニング・アジア選手権。欧米やオセアニアからも世界ランキング上位選手が多数参戦したこの国際大会で上位入賞を果たした(アジア以外の海外選手を入れた総合順位は6位)

ン。コンディショニングのためにも重要なアイテムだと強調する。「レース前に1本、レース中にも1本、レース後にも1本。マグ・オンを摂るようになって、急なトラブルもなくなりましたし、今まで以上に疲労からの回復が早くなった気がします。最近では、レース以外にも普段から摂るようにしています。どこかトラブルが起これば、レース前が怖いんだと思いたすね。レース前からしっかり整えておくためにも、マグ・オンは自分にとって大切なサプリメントです」

「当時は冬に陸上ができなくてモヤモヤしたこともありましたが、今はその環境に感謝ですね。スカイランに必要なテクニクを学べましたから」ただこれまで体験したことのないトラブルにも見舞われた。トレイルに足を踏み入れた最初のシーズン、これまでなかったケイレンに襲われたのだ。「ロードでは全くケイレンしたことがなかったで、かなり驚きました。トレイルでは身体を持ち上げたり支えたり、下半身だけではなく上半身も使う。身体へのダメージが全く違います。身体に対してより良いものを摂るようにしました」

「上りでは心肺機能が求められ、下りはテクニクが試されます。下りというよりも、落ちるようなコースが多いんですよ。距離は短いですが、危険度はかなり高いと思います」そんなテクニカルなコースでも「ワクワクできる」と語るのは、山育ちの経験があるからだという。中学生時代、夏は陸上、冬はクロスカントリーやアルペンスキーを行って積み上げた山の経験が今、生きています。

「上りでは心肺機能が求められ、下りというよりも、落ちるようなコースが多いんですよ。距離は短いですが、危険度はかなり高いと思います」そんなテクニカルなコースでも「ワクワクできる」と語るのは、山育ちの経験があるからだという。中学生時代、夏は陸上、冬はクロスカントリーやアルペンスキーを行って積み上げた山の経験が今、生きています。

顆粒スティック表面には闘い続けるアスリートに捧ぐ24種類のメッセージを